

チャペル週報

No.17

2014.10.6～10.10

天は神の栄光を物語り 大空はみ手のわざを示す。
昼は昼に語り伝え 夜は夜に知識を送る。
話すことも、語ることもなく
声は聞こえなくても その響きは全地に
その言葉は世界の果てに向かう。

詩編19編2～5節



中央講堂ロビー ステンドグラス

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 10月6日(月) 神 柳 本 伸 良 (神学研究科M2)
経 大学での学び Part4 ① 利 光 強 (経済学部長)
人 住 野 公 平 (人間福祉学部職員)
聖和 聖書物語 エジプトににげる・少年イエス
理 前 川 裕 (宗教主事)
-
- 10月7日(火) 神 <125周年記念 神学部・中学部 交流チャペル> 西 岡 稔 (中学部教諭)
文 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
社 「孤独」について④ 加 納 和 寛 (神学部助教)
法 音楽チャペル 聖歌隊
経 大学での学び Part4 ② 利 光 強 (経済学部長)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
国 音楽チャペル ゴスペルクワイア P.O.V.
聖和 「ビデオで見る関学の歴史」
総 辻 本 久 夫 (本学非常勤講師)
-
- 10月8日(水) 神 <125周年記念 神学部・中学部 交流チャペル> 藤 原 康 洋 (中学部副部長)
社 「孤独」について⑤ Ruth M. Grubel (院長・社会学部教授)
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 大学での学び Part4 ③ 利 光 強 (経済学部長)
商 西 本 章 宏 (商学部准教授)
人 聖和学生YMCA
国 志 甫 啓 (国際学部准教授)
聖和 杉 浦 健 (ヒューマンサービスセンター コーディネーター)
理 前 川 裕 (宗教主事)
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
-
- 10月9日(木) 神 家 山 華 子 (神学研究科D1)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 秋の音楽チャペル① 聖歌隊
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 大学での学び Part4 ④ 利 光 強 (経済学部長)
商 東日本震災学生ボランティア報告(1) ヒューマンサービスセンター
国 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)
聖和 ヒロシマの今、私たちの今～8.6 平和学習に参加して～
総 関西学院大学YMCA神戸三田キャンパス
-
- 10月10日(金) 院 杉 山 直 人 (国際学部教授)
神 「震災を覚えて」礼拝② 神学部メガホンプロジェクト
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 大学での学び Part4 ⑤ 利 光 強 (経済学部長)
人 風 間 朋 子 (人間福祉学部専任講師)
聖和 「マザーテレサの孤児院」でのボランティアから 峯 岸 聖 佳(保2)
理 関西学院室内合奏団
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
10月10日(金) 大学博物館のために 河上 繁樹(大学博物館長)

真のグローバル人間 創立者W.R.Lambuth

石 森 圭 一

この夏、高等部はアメリカの交流提携校である University School of Nashville を研修旅行として3年生10名、2年生2名の計12名の生徒、デルミン先生、富永先生とともに訪問することができました。USNからは昨年、ピアソン先生、イートマン先生が生徒を連れて高等部を訪れてくださり、両校交流の絆を深めてくださいました。今回、その経験、思いも新たなうちに、こちらからUSNを訪れることができたことは非常に幸いでした。そして、学院創立125周年の記念の年に、創立者ランバス先生がその若き日に学んだヴァンダビル大学を訪れ、その歴史やランバス先生の足跡を学び、また、ナッシュビル郊外にある初代牧師として働いたウッドバイン教会の主日礼拝に参加して礼拝を守り、生徒達と共に教会員の前で讃美歌を歌った後、ランバス牧師についてのお話を聞きながら教会の方と交流することができたことは、とても有意義でした。

今、関西学院は「世界市民」を合言葉に、学院すべての学校がミッション・ステートメント実現を目指して、それぞれの年代・学び舎で取り組んでいます。高等部でも、この4月より文部科学省に採択されたスーパー・グローバル・ハイスクール(SGH)事業を新たに加えて、学院のミッション実現の歩みを行っています。ランバス先生の若き日の学び舎、現場に触れてみて、先生が神学だけでなく医学も修練したことの重要性を改めて強く実感しました。「創造的、有能な世界市民」と学院のミッション・ステートメントでも語られていますが、スクールモットーの「Mastery」の意味を深く考えさせられます。

現在、関西学院大学理工学部では、来春からの3学科新設に向けて、着々と準備が進められています。先進エネルギーナノ工学科、環境・応用化学科、生命医化学科は、未来ビジョンと世界的視野にたち、新エネルギー、地球環境、QOL(Quality of Life)に対するブレークスルー技術を創造する、まさにこれからの未来に必要なグリーン・イノベーション、ライフ・イノベーションを追求していく最先端の学び舎となります。既存の学部・学科に加えられたこれらの3つの新学科は、これからのグローバル人材、そして関西学院の目指す「世界市民」の新たな力となっていくに違いありません。

これからもランバス先生を初めとする関学の先人達に見守られながら、関西学院が神様につくられた学校として、地の塩、世の光となる人、後追いではなく、まだ世の中にない新しいものをつくりあげるような真のグローバル人間を育み、輩出し続けていきたいと心から願います。

(関西学院高等部長)

●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月21日(火)

11月18日(火)

いずれもランバス記念礼拝堂(上ヶ原)にて10:35~11:05

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを実施しています。(17:50~18:20 1405教室)

主題:「関西学院創立125周年を覚えて」

10/9(木) Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)

10/16(木) 舟木 謙 (大学宗教主事)

10/23(木) Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)

10/30(木) 山本俊正 (院長補佐)

●夕べの祈りatランバス~テゼの音楽とともに~

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひととき。秋学期は以下の3回行ないます。どなたでもご参加ください。

第2回 11月6日(木) 18:30~20:00

第3回 1月8日(木) 18:30~20:00

ところ:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

主催:夕べの祈り準備会(学生有志)

協力:関西学院宗教活動委員会

●リトリートat千刈~テゼ共同体のブラザーを迎えて~

フランスのテゼ共同体からブラザー・ギランを講師に迎えて、1泊2日のリトリート(修養会・黙想会)を開催します。一日数回のテゼの音楽を用いた共同の祈りを中心に、ブラザーのお話、グループでの話し合い、個々の黙想の時間などを通して、それぞれが命を深呼吸させる日々。関西学院が大切にしてきた建学のスピリットに、体験的にふれる機会です。ぜひご参加ください。

とき:11月29日(土)~30日(日)

ところ:関西学院千刈キャンプ

主催:関西学院宗教活動委員会

申込み・問合せ:宗教センター(吉岡記念館事務室)

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。